やさしさと香りのある暮らし

Sanders Perry Garden

サンダース・ペリー・ガーデン

潤いに満ちたなめらかな肌へ

40年以上続くハーブレシピ ローション&クリームマスター講座

サンダース・ペリー物語／明野ハーブ農場だより

し〜っとりなめらか
肌美人！

ローション＆クリーム・マスター講座

ローション編

水分を補い、
みずみずしく
潤いのある肌へ

量はコットンの裏側まで
しっかりしみる位を目安に。

基本のお手入れ

1. ローションをコットンにたっぷり含ませ、軽くパッティングをしながらお顔全体になじませてください。
2. クリーム適量（小さじ１杯程）を手に取り、お顔全体にやさしくなじませてください。

顔の内から外へと軽くパッティング。

最後は手で軽く押さえるようにして、
しっかりとなじませます。

おすすめ Plus 1

プレローション（導入化粧水）でいつものお手入れを１ランクアップ！肌を整え、次に使用するローションやクリームなどの肌なじみをさらに良くします。

健やかに保ち、健康肌に導く
コスメティック ローション

水分の蒸発を防ぎ、
ハリ・ツヤのある肌へ

クリーム編

手のひらに適量をとり、軽くあたためてから、顔になじませます。

目もと、口もとなどの細かい部分にも
丁寧に伸ばします。顔全体になじませたら、
手のひらで包み込むようにハンドプレス。

ローション、クリームとも
乾燥しやすい場所には
重ね塗りがおすすめ！

クリーム実験

お餅に「ローションのみ」と「ローション＋クリーム」を塗布した２種を用意し、２時間後の状態を比較。

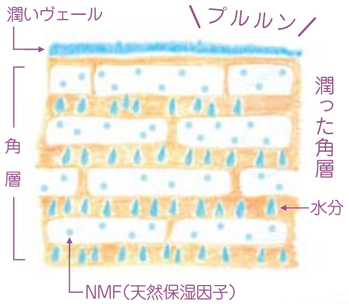
お肌から水分が蒸発しないように、お手入れの仕上げはクリームで。潤いのヴェールをかけて肌をタフにしましょう。水分、油分のバランスを整えるだけでなく、肌を柔らかくする効果もあります。

ローションのみ

ローション＋クリーム

※お餅にローションとクリームを塗布した実験（サンダース・ペリー調べ）※販売資材等への文章・写真の転載、コピー不可。

潤った肌のイメージ



潤いに満ちたなめらかな肌へ

40年以上続くハーブレシピの ローション＆クリーム

肌乾燥がもたらすトラブル

肌荒れ
くすみ
乾燥・小ジワ
ハリ 弾力の低下

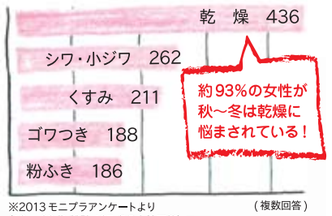
↓

肌老化を引き起こす！

加齢などの原因で角層内の水分や皮脂が減少すると、肌は乾燥状態になり、バリア機能が低下。放っておくと、外的刺激の影響を受けやすく、肌荒れなどのトラブルを引き起こして、さらなる肌乾燥を招く悪循環に。いつまでも若々しい肌を保つためには、肌に不足している水分（ローション）、油分（クリーム）を日々のお手入れで補うことは欠かせません。

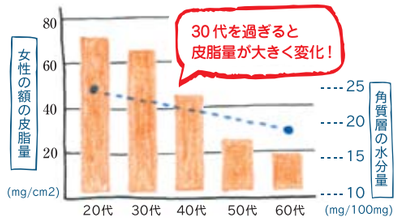
秋〜冬 乾燥シーズン到来！！

秋〜冬にかけて増える肌悩みは何ですか？



※2013モニプラアンケートより
（10〜60代 総計465名の女性回答）

年齢による角質の水分量・皮脂量変化グラフ



※資料：新化粧品学、COSMETIC STAGE Vol.1. No.2 2006

ローションで
「保湿」
肌をしっとり、
潤いを与える

クリームで
「保護」
潤いをキープし
乾燥から肌を守る

ポイントは、植物成分と寒天！

肌へ潤いを与える成分

保湿効果の高い厳選された植物エキスと寒天を配合。寒天は多量の水を抱え込む性質で、肌に塗布すると高い保湿力と持続性を発揮します。さらに紅藻類を原料とする寒天はミネラルをバランスよく含み、天然保湿因子（NMF）として働く優秀な美容成分です。

肌を保護する成分

肌を柔らかくしっとりとさせるだけでなく、なめらかにしてくれるアボカド油、ヒマワリ種子油などビタミンが豊富な植物油を使用。乾燥した肌の潤いを守り、保護します。

サンダース・ペリー物語

これは姉弟のやさしい愛情から
始まった物語であり、
サンダースの礎です。

第3話 ～世界への道～

自然化粧品会社を立ち上げたロナルド。当時は、まだ珍しかった新鮮な植物や野菜などを原料に24種のクリーム、ローションの他、香水、ベビーパウダーなどを作っていました。口コミで評判となり、瞬く間に人気となった化粧品の注文は増え続けました。一方でロナルドは植物化粧品に関する論文を書き始め、1957年「ニュービューティー」という季刊誌を発行し、精力的に活動を続けていました。1958年、チャールズ・ペリー社は英国ハーバリスト（漢方医）組合に3001番目の正式会員として登録され、国内外に多くの販売店が増え続けるなど、順調の一途をたどります。そんな輝かしい日々の真っ只中で、忙しさから体調を崩していたロナルドは、わずか26歳の若さで生涯の幕を閉じました。あまりにも突然の出来事でした。

Ronald John Harrington（1933～1960）
ロナルド・ジョン・ハリントン
植物・食料研究家として世界に先駆け自然化粧品を完成。植物の効能、ナチュラルビューティーの大切さを啓蒙。

メディカルハーバリストとは？

日本で薬草が民間療法として使われているように、ヨーロッパでもハーブ（薬草）は古くから民間で役立てられてきました。英国では、現在もメディカルハーブ（薬草療法）が補足医療の一環として、治療薬として使用され続けています。英国で「メディカルハーバリスト」をめざすには、まず養成学校に入学することからはじまります。薬草の知識と伝統医学に、規定の近代医学を学び、「診断・治療・処方」に必要となる知識を習得していきます。数百種類とあるハーブの中から個々の症状・体質に合わせたハーブを処方し、患者をサポートするスペシャリストです。

明野ハーブ農場だより

「今年のエキナセアは何かが違う！」

明野ハーブ農場も秋らしい爽やかな風が楽しめる季節になりました。1 年間育成をしてきたハーブ達もいよいよ収穫を迎えます。今年は、10、11 月に皆さまのご協力のもとマシマロ、オウゴンなどの大収穫祭をおこなう予定です。なかでも、エキナセアは大注目。エキナセアの根に栄養を蓄えるため 7 月に花の収穫（切除）を行いましたが、今年は成長が著しく、草丈が 1m を優に超え、咲き始めの直径が 15cm を超える大輪の花が多かったのです。今年のエキナセアは何かが違う？！今までにないたくましい成長姿に農場長はじめ、スタッフ一同心を躍らせています。収穫がますます楽しみなエキナセアなのでした。